

〔第1巻 目次〕

刊行にあたって 岡田靖雄

資料番号——資料名・編著者名(発行所)・発行年月・(所蔵及び所蔵者(敬称略・記載のないものは青柳舎所蔵))——複製版ページ
*資料名、編著者名(発行所)、発行年月が明示されていない場合、内容から類推し、「」で補充した。

I 初期資料——編集 岡田靖雄

口絵——相錦後日話・梅堂小国政・福田熊次郎・一八九三・八

一——〔妖怪の所行禁止〕(申第二百七十号)・大阪府・一八七二・八——3

二——〔梓巫女等禁止につき〕(明治六年第廿六号)・大阪府参事・一八七三・一——5

三——〔癡狂院設立／癡狂院諸規則／癡狂院治療条則〕・京都府権参事・一八七五・七〜一八八一・五・(京都府立総合資料館)——6

四——癡狂院一件(府史第二篇政治部衛生類第六・自明治八年至十一年)・京都府・一八七五〜一八七八・(京都府立総合資料館)——12

五——狂気人御説諭御願・□□松三郎・一八七六・一〇・(順天堂大学・山崎文庫)——28

六——相馬家紛擾之顛末・錦織剛清・一八八七・二——32

七——相馬騒動見立鏡・山下重民／編II 穴倉安三郎・一八九三・九——38

II 各地の「癡癡人取締規則」等——編集 岡田靖雄・橋本明(資料収集協力・野田武志)

八——〔癡癡人及不良之子自宅鎖鑰〕(県甲第百五拾六号)・広島県・一八七八・一一・(広島県立図書館)——43

九——癡癡人(警視類聚規則「坤巻」)・警視局書記課編纂・一八七九・二・(国立国会図書館)——44

一〇——〔癡癡人看護ノ為メ私宅鎖鑰出願手続〕(甲第十六号)〔東京警視本署布達全書〕第四冊・警視庁・一八八一・二・(国立国会図書館)——46

一一——癡癡人鎖鑰願・□□鉄五郎・一八八四・一・(小峰研究所)——47

一二——〔癡癡人看護ノ為メ私宅鎖鑰〕(甲第八拾弍号)・兵庫県令・一八八四・九——48

一三——癡癡(警務要書)・(内務省警保局)・一八八五・六——49

一四——癡癡人鎖鑰(類聚大阪府布達全書)第拾卷・一八八五・一一・(大阪府立大学学術情報センター)——51

- 一五—瘋癲人及癡狂人〔広島県警務全書〕●広島県警察本署●一八八六・五●〔国立国会図書館〕— 52
- 一六—〔瘋癲人鎖鑰〕〔現行埼玉県警規彙纂〕●一八八六・八●〔国立国会図書館〕— 53
- 一七—瘋癲人取締規則〔滋賀県公報〕●一八八七●〔滋賀県庁〕— 54
- 一八—瘋癲〔警視庁令類纂〕下巻●警視庁●一八八七・一〇●〔国立国会図書館〕— 55
- 一九—瘋癲人取締規則〔県令第二百二十四号〕●群馬県●一八八七・一一●〔群馬県立文書館〕— 57
- 二〇—瘋癲人取扱項目〔大阪府警務規程〕統編●大阪府警察本部●一八八八・一●〔国立国会図書館〕— 58
- 二一—鎖鑰〔三重県警察要編〕上●●三重県警察本部●一八八八・六●〔国立国会図書館〕— 59
- 二二—瘋癲人鎖鑰願出ノコト〔兵庫県警察概要〕●兵庫県神戸警察署●一八八八・六●〔国立国会図書館〕— 60
- 二三—〔癡狂院護送ノ患者ほか〕〔警務要領〕●警視庁巡查教習所●一八八八・六●〔国立国会図書館〕— 61
- 二四—警察本署通達〔警視庁令類纂〕補遺之●書記局記録課●一八八九・六●〔国立国会図書館〕— 62
- 二五—瘋癲人取扱手続〔和歌山県警察規則〕●和歌山県警察本部●一八八九・六●〔国立国会図書館〕— 63
- 二六—瘋癲人間締〔現行石川県令類纂〕●石川県第一部文書課●一八九〇・三●〔国立国会図書館〕— 64
- 二七—瘋癲人取締規則〔現行大阪府諸取締規則類纂〕●大阪府警察部●一八九一・九●〔国立国会図書館〕— 65
- 二八—瘋癲人及棄兒迷子〔宮崎県警察規則〕●宮崎県警察部●一八九一・一〇●〔国立国会図書館〕— 66
- 二九—瘋癲〔現行警察提要〕●青森県警察部●一八九二・五●〔国立国会図書館〕— 67
- 三〇—瘋癲人看護〔新潟県警察法規〕下巻甲●●新潟県警察部●一八九二・七●〔国立国会図書館〕— 68
- 三一—瘋癲人不良子弟及白痴者〔警察例規〕第一冊●宮城県警察部●一八九二・七●〔国立国会図書館〕— 69
- 三二—瘋癲人取締規則〔大阪府警務規程〕上巻●大阪府警察部●一八九二・八●〔国立国会図書館〕— 70
- 三三—瘋癲人取締規則〔奈良県警務規程〕●奈良県警察部●一八九二・一二●〔国立国会図書館〕— 72
- 三四—瘋癲人自宅鎖鑰願ノ件〔島根県警察規程〕●島根県警察部●一八九三・五●〔国立国会図書館〕— 74
- 三五—瘋癲人鎖鑰〔以呂波別法規〕統編●兵庫県警察部●一八九三・八●〔国立国会図書館〕— 75
- 三六—瘋癲人取扱〔訂正増補 福岡県警察提要〕上巻●福岡県警察部●一八九三・八●〔国立国会図書館〕— 76
- 三七—瘋癲人取締規則〔現行岩手県警察要規〕中巻●岩手県警察部●一八九三・八●〔国立国会図書館〕— 77
- 三八—瘋癲及棄兒迷兒〔警察通規〕第式巻●愛媛県警察部●一八九三・九●〔国立国会図書館〕— 78
- 三九—瘋癲人〔神奈川県警察規則〕●神奈川県警察部●一八九三・一一●〔国立国会図書館〕— 79

- 四〇—〔瘋癲人鎖錮〕〔北海道庁現行布令便覧〕下巻 ●北海道庁 ●一八九四・五 ●(国立国会図書館) — 80
- 四一—瘋癲人〔現行医事衛生制度全書〕 ●編 山谷徳治郎 ●一八九四・七 ●(国立国会図書館) — 81
- 四二—瘋癲人取扱心得／瘋癲人鎖錮方〔栃木県警察令類纂〕 ●栃木県警察部 ●一八九四・一 ●(国立国会図書館) — 82
- 四三—瘋癲人鎖錮及ヒ同取扱手続〔現行警察法規〕 ●(山形県警察部) ●一八九五 ●(国立国会図書館) — 83
- 四四—瘋癲〔現行警察令類纂〕 ●福島県警察部 ●一八九五・七 ●(国立国会図書館) — 84
- 四五—瘋癲人取締〔三重県警察令類纂〕 ●三重県警察部 ●一八九六・一 ●(国立国会図書館) — 85
- 四六—瘋癲人〔警務摘要〕中編 ●長崎県警察部 ●一八九六・二 ●(国立国会図書館) — 86
- 四七—瘋癲人取締規則〔岐阜県警察規則類聚〕中巻 ●岐阜県警察部 ●一八九六・五 ●(国立国会図書館) — 87
- 四八—瘋癲〔長野県警務規程〕下巻 ●長野県警察部 ●一八九六・六 ●(国立国会図書館) — 88
- 四九—瘋癲病鎖錮願出方／瘋癲病者鎖錮願取扱心得〔山梨県警務規程〕 ●山梨県警察部 ●一八九六・九 ●(国立国会図書館) — 89
- 五〇—瘋癲人取扱規則〔警察法規〕上 ●岡山県警察部 ●一八九七・六 ●(国立国会図書館) — 90
- 五一—瘋癲人取締規則〔大分県報〕 ●大分県知事 ●一八九七・七 ●(大分県公文書館) — 91
- 五二—瘋癲人取締規則〔茨城県令達類纂〕上巻 ●一八九八 ●(国立国会図書館) — 92
- 五三—瘋癲人鎖錮取扱手続〔警務要録〕第二編 ●鳥取県警察部 ●一八九八・七 ●(国立国会図書館) — 93
- 五四—瘋癲人私宅監置取締規則〔広島県令甲第五十四・五十五号〕 ●広島県知事 ●一八九八・一〇 ●(広島県立図書館) — 94
- 五五—途上瘋癲人取扱方／精神病患者取扱二関スル取締方ほか〔警察法令類纂〕下巻 ●警視庁 ●一九〇〇・八 ●(国立国会図書館) — 95
- Ⅲ 巢鴨病院／松沢病院 — 編集 岡田靖雄
- 五六—東京府立松沢病院ノ歴史及患者統計・東京帝国大学精神病学教室ノ歴史及患者統計〔呉教授在職二十五年記念文集別刷〕 ●東京府立松沢病院医局同人・東京帝国大学精神病学教室同人 ●一九二八・二 — 99
- 五七—〔東京府癲狂院年表〕明治十二年自七月明治十五年十二月 ●〔癲狂院々長〕 ●(一八八三・一) ●(東京都公文書館) — 253
- 五八—癲狂院年表明治十六年儀二付上申〔甲第壹号〕 ●癲狂院々長 ●一八八四・一 ●(東京都公文書館) — 254
- 五九—東京府癲狂院之件 ●(東京府) 衛生課長 ●一八八六・一 ●(東京都公文書館) — 261
- 六〇—〔東京府癲狂院年表〕明治十八年自一月至十二月 ●〔癲狂院々長〕 ●(一八八六・二) ●(東京都公文書館) — 262
- 六一—当院医務引継之義二付御届〔甲第三拾八号〕 ●東京府癲狂院 ●一八八七・五 ●(東京都公文書館) — 268

- 六二―病体解剖之儀付上申(申第二号)●東京府癲狂院●一八八八・一●(東京都公文書館)―269
 - 六三―東京府巢鴨病院規則●序Ⅱ吳秀三●一九〇六・三―270
 - 六四―看護人心得之大要第四拾七号●(東京府立松沢病院)●一九二五・七―316
 - 六五―規程●東京府立松沢病院●一九二九・三―319
 - 六六―蝶友会々則・同施行細則●一九三九・四―324
 - 六七―東京府立松沢病院絵葉書●病者救済会●(一九三五頃)―326
 - 六八―入院後ノ心得●東京府立松沢病院●(一九三五頃)―328
 - 六九―東京府立松沢病院案内●(一九三七)●(小峰研究所)―329
 - 七〇―東京府巢鴨病院●五区二号室患者●一八九八・二―335
 - 七一―旅路之夢第貳●誠心院居士●一九〇五・六〃二―345
 - 七二―〔荻原將軍〕
 - * 1 (写真)●(一九〇七)―351
 - * 2 (写真)●(一九三〇)―351
 - * 3 勅語●荻原帝●一九三二・二―352
 - * 4 勅語●荻原大帝●一九三三・一〇●(防府病院)―352
 - * 5 (書)●荻原將軍●(一九三六)―353
 - 七三―松の緑第一選集●編・序Ⅱ野村章恒／序Ⅱ杉田直樹／表紙Ⅱ飯沢天羊●一九三二・五―354
 - 七四―精神病学教室及附属病院建設地トシテ伝染病研究所構内ノ地所ヲ検分候処●筆記Ⅱ吳秀三●一九二七・二―369
- 〔癲癪人取締規則〕から見えてくる「明治」 野田武志 (1)
- 解説・解題 岡田靖雄 (3)

〔第2卷 目次〕

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月●(所蔵及び所蔵者(敬称略・記載のないものは青柿舎所蔵))——復刻版ページ

Ⅲ 巢鴨病院／松沢病院(年報類)——編集 岡田靖雄

七五——明治二十九年巢鴨病院医事年報●一八九七・七——3

七六——明治三十五年東京府巢鴨病院年報●一九〇三・二二——25

七七——自大正九年至大正十三年東京府立松沢病院年報●一九二八・三——126

七八——昭和三年東京府立松沢病院年報●一九二九・一〇——255

七九——昭和十四年東京府立松沢病院年報●一九四二・二——280

解説 岡田靖雄——(1)

〔第3卷 目次〕

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月●(所蔵及び所蔵者(敬称略・記載のないものは青柿舎所蔵))——復刻版ページ
*資料名、編著者名(発行所)、発行年月が明示されていない場合、内容から類推し、「」で補充した。

IV 公立精神病院——編集 岡田靖雄

- 八〇——大正十五昭和元年大阪府立中宮病院概況報告書●一九二七・一〇●(森口秀樹)——3
八一——自昭和五年至昭和八年大阪府立中宮病院概況報告書●一九三四・一〇●(森口秀樹)——21
八二——創立拾週年記念誌昭和十一年四月●小関光尚・西谷義磨・長山泰政・山本捨吉ほか●一九三六・四●(森口秀樹)——44
八三——神奈川県立芹香院要覧昭和十一年版●一九三六●(神奈川県立公文書館)——69
八四——神奈川県立芹香院概要●一九四〇・四——74
八五——県立精神病院光風寮建築概要●兵庫県●一九三七・五——80

V 私立精神病院——編集 岡田靖雄

- 八六——瘋癲(広告)／きちがひ病院(広告)〔朝野新聞附録第二千四百二十一号〕埼玉県警察本部／瘋癲病院●一八八一・一〇——99
八七——きちがひ病院(広告)〔朝野新聞附録第二千七百三十三号〕瘋癲病院●一八八二・一一——99
八八——私立瘋癲病院一日ノ入院料●加藤照業・奈良林元春●(一八七九)●(東京都公文書館)——100
八九——瘋癲病院創立費及一ケ年経費取調書●瘋癲病院長●一八八四・五●(東京都公文書館)——101
九〇——院則●瘋癲病院●一八八三・一一●(東京都公文書館)——102
九一——瘋癲病院監事以下職制／監事章程／看病人長章程／看病人職務定則／看病婦職務定則／賞罰目／私立瘋癲病院患者表
●(一八八三)●(東京都公文書館)——103
九二——木瓜原狂病院補助金集帳第八百廿三号(抄)●一八八二●(長門谷洋治)——110
九三——精神病室新築趣意●高松彝●私立京都癲狂院●一八八七・六——112
九四——入院諸費計算書●私立京都癲狂院会計掛●一八九一・五——115
九五——入院心得書大正三年改●船岡精神病院●一九一四——116
九六——顛狂院諸病院規則●山崎(佐蔵)●(小峰研究所)——120
九七——人類の最大暗黒界瘋癲病院(一)～(四五)〔読売新聞〕●一九〇三・五～六——125

九八―公立及代用精神病院々主院長会議々事録

●三宅鉦一・大島辰次郎・小峰茂之・高野六郎・土屋栄吉・国沢健雄・二本松錠・小関光尚・亀山考一・細見新治・後藤五郎・金子準二・山田永俊・櫻田五郎・加藤寛二郎・轟太三郎・森崎半治・木村省三・川越直三郎・土田誠一・西坂勝人・新名常造・山本友香・岸田美登・山本允義・藤井綏彦・高橋清太郎・西野陸夫●一九三三・九●(小峰研究所)―148

九九―和光第壹号●斎藤玉男ほか/表紙Ⅱ高野六郎/公立及代用精神病院協会●一九三四・四●(小峰研究所)―158

一〇〇―内務大臣諮問事項答申私案●(公立及代用精神病院主院長会議)●(一九三五頃)●(小峰研究所)―176

一〇一―廢橋病院案内●(小峰研究所)―185

一〇二―積善第五号●滝沢徳全/社団法人前橋積善会●一九三五・一〇●(小峰研究所)―188

一〇三―精神病院の構造設備に就て(社団法人前橋積善会廢橋病院十周年記念第一篇)●前田忠重●一九三九・五●(小峰研究所)―208

一〇四―内務大臣指定神奈川県代用精神病院横浜脳病院要覧●(小峰研究所)―234

一〇五―東京脳病院規則并二規定―240

一〇六―鶴見西井脳病院案内書●(小峰研究所)―243

一〇七―昭和九年度入院患者統計●浜松脳病院医局●一九三五・三●(小峰研究所)―245

一〇八―脳神経科国府台病院案内書●(小峰研究所)―249

一〇九―鎌倉脳病院十週年記念誌●一九四一・六―252

一一〇―浦和脳病院開設案内―261

一一一―浜松診療所/浜松各科専門病院―262

一一二―〔入院要項〕●(一九四三、四四)●(小峰研究所)―264

一一三―熊谷脳病院規定摘要/入院委託証―265

一一四―川越脳病院案内●(小峰研究所)―267

一一五―岩倉病院史草案●土屋栄吉・末松たま・柴山泰三郎・三原登喜子・平賀ハツ・青山はる代●(一九四八・七)●(橋本明)―268

〔第4卷 目次〕

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月●(所蔵及び所蔵者(敬称略・記載のないものは青柳舎所蔵))——復刻版ページ
*資料名、編著者名(発行所)、発行年月が明示されていない場合、内容から類推し、「()」で補充した。

VI 精神病患者監護法および精神病院法——編集 岡田靖雄

- 一一六—〔入院願之趣聞届〕(本第四五一号)●本所警察署長警視●一八九八・四●(東京都公文書館)——3
- 一一七—精神病患者監護法制定ノ件〔秘甲第三七九号〕●内務大臣●一八九九・九●(国立公文書館)——4
- 一一八—精神病患者監護法令自問自答録●北村晴松●一九〇四・六——6
- 一一九—行旅精神病患者報告〔第五二二三号〕●高崎市長●一九〇六・四〇一—一九一三・四●(群馬県立文書館)——23
- 一二〇—〔精神病患者を京都府愛宕郡岩倉村岩倉病院へ入院監置の件〕(保第一二二〇六号)●滋賀県知事●一九〇七・一一●(吉岡真二)——36
- 一二一—精神病患者取扱費下附稟請(第三九〇号)●新屋村長●一九一三・三●(群馬県立文書館)——39
- 一二二—群馬県管下精神病患者私宅監置状況視察報告●斎藤玉男●一九一〇・一〇●(小峰研究所)——43
- 一二三—山梨県管下精神病患者私宅監置状況視察報告●斎藤玉男●一九一〇・一〇●(小峰研究所)——66
- 一二四—精神病患者私宅監置ノ実況及び其統計的觀察(一)〜(四)〔東京医学会雑誌〕第拾貳卷第十号〜第十三号●吳秀三・櫻田五郎●一九一八・六——91
『東京医学会雑誌』に掲載された論文と内務省別刷論文とのテキストの相違点
- 一二五—精神病患者保護取締ニ関スル意見●吳秀三／内務省衛生局●一九一八・六——178
- 一二六—精神病院法制定ニ関スル件(内務省発衛第二〇三号)●内務大臣●一九一九・一●(国立公文書館)——184
- 一二七—精神病患者タル在監人放免ニ関スル取扱手續ニ関スル件(内務省発衛第二一〇号)●内務省衛生局長●一九二〇・九●(兵庫県公館県政資料館歴史資料部門)——185
- 一二八—〔代用精神病院指定期間更新〕(内務省発衛第三七号)●内務大臣●一九三一・三●(順天堂大学・山崎文庫)——187
- 一二九—〔監置許可書〕(指令第六〇五三号)●警視總監●一九〇二・八●(東京都公文書館)——188
- 一三〇—診断書●東京戸山病院医員●一九〇三・六●(東京都公文書館)——189
- 一三一—精神病患者監護費用弁償ニ関スル手續(行旅病人行旅死亡人取扱手續・精神病患者監護費用弁償ニ関スル手續・棄児迷児取扱手續〔抄〕)
●東京府●(一九一六・二)●(同志社大学図書館)——190
- 一三二—〔代用精神病院に関する件〕●須磨精神病院長●一九二〇・一〇●(兵庫県公館県政資料館歴史資料部門)——193
- 一三三—代用精神病院ノ長ノ入院患者ニ対スル処置ニ関スル規程●一九二二・四●(兵庫県公館県政資料館歴史資料部門)——195

- 一三四―〔代用精神病院に関する件施行細則及執行手続〕●〔兵庫県〕知事●一九二二・八●〔兵庫県公館県政資料館歴史資料部門〕――196
- 一三五―意見書●兵庫県会議長●一九三〇・一二●〔兵庫県公館県政資料館歴史資料部門〕――205
- 一三六―精神病患者ノ取扱〔警察研究第三輯 売淫及精神病〕〔抄〕●川村貞四郎●一九二六・三――206
- 一三七―監置精神病患者発病原因調査報告昭和三年三月●埼玉県保健調査会●一九二八・三――216
- 一三八―精神病院若クハ精神病患者取扱ニ関スル法令改正ノ意見●〔関西私立精神病院協議会〕●一九三一・九――230
- 一三九―答申書写●日本医師会長●一九三三・一一●〔小峰研究所〕――231
- 一四〇―精神病院法並精神病者監護法及関係例規昭和八年八月●公立及代用精神病院々主院長会●一九三三・八――233
- 一四一―最近三ヶ年度ニ於ケル精神病者監護費調●〔厚生省予防局〕●一九三八●〔日本社会事業大学附属図書館〕――249
- 一四二―監置精神病患者に関する綴昭和十五年〔抄〕●〔大分県〕予防課●一九四〇●〔大分県公文書館〕――254
 - 精神病者収容施設調査ノ件厚生大臣宛達案伺〔大衛第五九号〕●〔大分県〕警察部●一九四〇・一
 - 精神病者監置廃止願ニ関スル件〔三衛第四一号〕●三重警察署長●一九四〇・二
 - 精神病者私立病院内監置許可ノ件伺●〔大分県〕警察部●一九四〇・三
 - 精神病者逃走手配解除ニ関スル件〔十五衛第一三七八号〕●長崎県警察部長●一九四〇・四
 - 所在不明精神病患者手配方之件〔衛第一九八八号〕●滋賀県警察部長●一九四〇・五
 - 精神病院収容患者状況調送付ノ件〔予発第三〇五号〕●厚生省予防局優生課長●一九四〇・六
 - 精神病者私宅監置許可ノ件伺●〔大分県〕警察部●一九四〇・八
 - 監置精神病患者監置廃止ノ件〔大衛第一六二二号〕●大分警察署長地方警視●一九四〇・八
 - 監置精神病患者死亡ノ件〔佐伯衛第一〇九二号〕●佐伯警察署長警部●一九四〇・一一
 - 精神病者私宅監置室ノ写真送付方依頼ノ件〔予乙発第七号〕●厚生省予防局優生課長●一九四〇・一二
- 一四三―代用精神病院指定期間更新ニ関スル件案〔衛發第五九三号〕●〔兵庫県〕知事●一九四四・三●〔順天堂大学・山崎文庫〕――282
- 一四四―私宅監置室の構造見取図〔抄〕●広島医科大学精神神経科●〔一九五〇〕●〔長尾邦雄〕――287
- 一四五―〔大阪府令第三十四号ほか〕〔大阪府公報第七百十九号〕●一九三三・三●〔大阪府公文書館〕――299
- 一四六―精神病患者ノ待遇統一ヲ望ムノ意見書〔建議案〕●大阪府会議長●一九三六・一二●〔大阪府公文書館〕――303
- 一四七―〔大阪府令第二十七号ほか〕〔大阪府公報〕号外●一九三八・四●〔大阪府公文書館〕――304
- 一四八―〔代用精神病院患者費ほか〕●〔大阪府〕●一九四一・二●〔大阪府公文書館〕――323
- 一四九―追加予算内協議ニ関スル件〔案〕●〔大阪府〕総務部長●一九四二・二●〔大阪府公文書館〕――324

一五〇—一八五二・一八九八年間ニ於ケル病院収容精神病者一人ニ対スル人口割表——331

一五一—各国ニ於ケル精神病者保護法並其ノ施設概要●衛生局保健衛生調査室●一九一八・九——340

一五二—各国ニ於ケル精神病問題●内務省衛生局●一九一九・二——356

私宅監置資料を求めて 橋本明——(1)

解説・解題 岡田靖雄——(3)

〔第5巻 目次〕

資料番号——資料名・編者名(発行所)●発行年月●(所蔵及び所蔵者(敬称略・記載のないものは青柿舎所蔵))——復刻版ページ
*資料名、編者名(発行所)、発行年月が明示されていない場合、内容から類推し、「」で補充した。

口絵一——飲酒被害者の大行列

口絵二——酔狂帰宅の凶五・路傍酔狂の凶六・饑て犬の食を奪ふ凶九・強盗追剥を為す凶拾・精神錯乱の凶拾一・道途に餓死する凶拾二

●東京婦人矯風会●一八八八・一二

VII 精神病者慈善救治会および日本精神衛生協会——編集 岡田靖雄

一五三——救治会の趣旨及規則●一九三一・五——3

一五四——庶務日誌大正四年六月起●精神病者慈善救治会●一九一五・六—一九二六・五——6

一五五——心疾者の救護精神病者慈善救治会々報第廿九号

●編II藤井房次郎／吳秀三・岡田良平・杉山四五郎・栗本庸勝・豊島直通・櫻田五郎●一九一八・八●(日本福祉大学付属図書館)——21

一五六——救治会々報第五十二号(創立滿三十年記念号)●編II村松常雄／加藤普佐次郎・長山泰政・野村章恒・菅修・三宅鉦一●一九三二・七——49

一五七——精神病に関する常識及精神病院入院の手引(附全国精神病院及収容施設一覽)(救治会バムフレット第一輯)●村松常雄●一九三二・一〇——102

一五八——精神病院に於ける作業治療の理論と實際(救治会バムフレット第二輯)●編・序II村松常雄／加藤普佐次郎・長山泰政・野村章恒・菅修・前田則三●一九三二・一〇——115

一五九——救治会埼玉支部創立趣意書●一九三五・八●(立命館大学図書館)——128

一六〇——救治会埼玉支部会則●一九三五・八●(立命館大学図書館)——129

一六一——精神病者救治会埼玉支部役員名簿●一九三六・一一●(立命館大学図書館)——130

一六二——精神衛生運動(精神衛生バムフレット第一輯)●述II植松七九郎／日本精神衛生協会●一九三一・五——132

一六三——教育と精神衛生(その二)——児童指導事業に就て(精神衛生バムフレット第二輯)●述II斎藤玉男／日本精神衛生協会●一九三一・一〇——139

一六四——精神病の話(精神衛生バムフレット第三輯)●述II三宅鉦一／日本精神衛生協会●一九三二・二——145

一六五——遺伝の話(精神衛生バムフレット第四輯)●述II小関光尚／日本精神衛生協会●一九三二・五——158

一六六——精神変質の話(精神衛生バムフレット第五輯)●述II三宅鉦一／日本精神衛生協会●一九三三・一一——166

一六七——酒と国民力の将来(精神衛生バムフレット第六輯)●述II吉益脩夫／日本精神衛生協会●一九三八・二——176

- 一六八―戦争と精神病(精神衛生バムフレット第七輯)●述Ⅱ村松常雄/日本精神衛生協会●一九三八・一〇―185
- 一六九―精神病の遺伝(精神衛生バムフレット第八輯)●述Ⅱ内村祐之/日本精神衛生協会●一九三九・三―192
- 一七〇―精神衛生運動とは?●(一九三三・九)●(小峰研究所)―200
- 一七一―神奈川県精神衛生協会設立趣意書●一九三三・九●(小峰研究所)―201
- 一七二―財団法人精神厚生会創立趣意書・事業計画概要・寄附行為●一九四三・三―202
- Ⅹ 精神科看護 ―編集 岡田靖雄・小峯和茂
- 一七三―癲狂院に於る精神病看護学●述Ⅱ榎保三郎●一九〇一・八―209
- 一七四―根岸病院看護法●編・序Ⅱ森田正馬●一九〇八・九―223
- 一七五―看護夫名簿綴込〔抄〕明治二十〇年一月起●(東京府立巢鴨病院)男看護科●一八九五―260
- 一七六―看護夫名簿綴込〔抄〕大正十年度ヨリ同十四年度ニ至ル●(東京府立松沢病院)男看護科●一九二二―263
- 一七七―後証綴〔抄〕明治四十一年改●(東京府立巢鴨病院)男子部看護長●一九〇八―267
- 一七八―後証綴〔抄〕大正卯年●(東京府立巢鴨病院)男子部看護科●一九一四・二―269
- 一七九―任免賞罰ニ関スル書類綴〔抄〕大正十四年一月起●(東京府立松沢病院)看護長●一九二五・三―280
- 一八〇―根岸病院保養院争議団解決条項●一九三三・四●(小峰研究所)―281
- 一八一―東京府代用精神病院従業員給与待遇調査一覽表(職員ヲ除ク)昭和八年五月現在(秘)●一九三三・五●(小峰研究所)―284
- 一八二―東京府立松沢病院従業員給与待遇調査表昭和八年五月現在(職員ヲ除ク)●一九三三・五●(小峰研究所)―293
- 一八三―〔従業員給与待遇調査表〕●(一九三三・五)●(小峰研究所)―294
- 一八四―根岸病院争議解決報告●全国労働組合同盟関東化学一般労働組合根岸医労支部●一九三三・六●(小峰研究所)―296
- 一八五―東京府代用精神病院従業員給与待遇調査一覽表
附立松沢病院看護人給与待遇(職員ヲ除ク)昭和八年五月現在 昭和八年七月十日協定済●一九三三・七●(小峰研究所)―302
- 一八六―東京府代用精神病院看護人婦給与並待遇協定表昭和八年八月協定●一九三三・八●(小峰研究所)―311
- 一八七―根岸病院争議応援に起て!●全国労働組合同盟関東化学一般労働組合●(一九三三・八)●(小峰研究所)―313
- 一八八―根岸病院争議闘争方針書●全国労働組合同盟関東化学一般労働組合争議部●(一九三三・八)●(小峰研究所)―314
- 一八九―告訴状●一九三六・六●(小峰研究所)―315
- 一九〇―賢明なる西巢鴨町民各位に訴ふ●全日本労働総同盟中央合同労働組合保養院争議団本部●(一九三六・七)●(小峰研究所)―316

一九一―隠忍百二十一日戒嚴令の解除と共に精神病院保養院の暴状を訴ふ!!

●全日本労働総同盟中央合同労働組合本部・保養院争議団本部●一九三六・七●(小峰研究所)――317

一九二―〔保養院長への勧告依頼〕●全日本労働総同盟本部●(一九三六・七)●(小峰研究所)――318

一九三―経過報告●(保養院)●一九三六・八●(小峰研究所)――319

X 酒害――編集 岡田靖雄

一九四―酒は何故に飲んで悪いか●松浦有志太郎／京都禁酒会――325

一九五―酒は魔性、飲めば吞まれる／労働者から酒を除ることを薄情慘酷だといふ説は間違つてゐる!!

●名古屋排酒会／名古屋排酒会・大阪講演会――328

一九六―酒の害全●津田仙／題字 勝安芳／東京婦人矯風会●一八九一・一〇――330

小峰研究所資料のこと 小峯和茂――(1)

解説・解題 岡田靖雄――(3)

〔第6卷 目次〕

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月●(所蔵及び所蔵者(敬称略・記載のないものは青栴舎所蔵))——復刻版ページ
*資料名、編著者名(発行所)、発行年月が明示されていない場合、内容から類推し、「」で補充した。

XI 精神病学講義録／教科書——編集 岡田靖雄

一九七—断訟医学乾・坤●講述Ⅱ老烈(アルブレヒト・フォン・ローレツ)／筆記Ⅱ林笈——3

一九八—榊教授精神病学●筆記Ⅱ高嶺三吉●一八八六・七●(金沢大学中央図書館)——258

一九九—呉教授病的心理学(心理学・精神病学)●筆記Ⅱ浅田一●(一九〇九)●(浅田護)——293

二〇〇—精神病学綱要●高松彝●一九二一・五——352

高嶺三吉の講義筆記録との遭遇 正橋剛二——(1)

解説・解題 岡田靖雄——(3)

〔第7卷 目次〕

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月——復刻版ページ

*資料名、編著者名(発行所)、発行年月が明示されていない場合、内容から類推し、「」で補充した。

XI 統計(衛生局年報)——編集 岡田靖雄

二〇一『衛生局年報』

衛生局第三次年報	明治十年七月～十一年六月●内務省衛生局●一八八一——3
衛生局第四次年報	明治十一年七月～十二年六月●内務省衛生局●一八八二——5
衛生局第五次年報	明治十二年七月～十三年六月●内務省衛生局●一八八三——6
衛生局第六次年報	明治十三年七月～十四年六月●内務省衛生局●一八八四——7
衛生局第七次年報	明治十四年七月～十五年六月●内務省衛生局●一八八五——11
衛生局第八次年報	明治十五年七月～十六年六月●内務省衛生局●一八八六——16
衛生局年報	明治三十三年●内務省衛生局●一九〇四・三——21
衛生局年報	明治三十四年●内務省衛生局●一九〇五・三——22
衛生局年報	明治三十七年・明治三十八年●内務省衛生局●一九〇八・三——24
衛生局年報	明治三十九年●内務省衛生局●一九〇九・三——28
衛生局年報	明治四十年・明治四十一年●内務省衛生局●一九一〇・三——32
衛生局年報	明治四十二年●内務省衛生局●一九一一・八——38
衛生局年報	明治四十三年●内務省衛生局●一九一二・三——45
衛生局年報	明治四十四年●内務省衛生局●一九一三・三——53
衛生局年報	明治四十五年・大正元年●内務省衛生局●一九一四・三——59
衛生局年報	大正二年●内務省衛生局●一九一五・三——68
衛生局年報	大正三年●内務省衛生局●一九一六・三——78
衛生局年報	大正四年●内務省衛生局●一九一七・三——88
衛生局年報	大正五年●内務省衛生局●一九一八・三——98

衛生局年報	大正六年●内務省衛生局●一九一九・三	108
衛生局年報	大正七年●内務省衛生局●一九二〇・三	118
衛生局年報	大正八年●内務省衛生局●一九二一・三	128
衛生局年報	大正九年●内務省衛生局●一九二二・三	139
衛生局年報	大正十年●内務省衛生局●一九二三・三	150
衛生局年報	大正十一年●内務省衛生局●一九二四・九	160
衛生局年報	大正十二年●内務省衛生局●一九二五・三	169
衛生局年報	大正十三年●内務省衛生局●一九二六・四	180
衛生局年報	大正十四年●内務省衛生局●一九二七・三	190
衛生局年報	大正十五年・昭和元年●内務省衛生局●一九二八・三	200
衛生局年報	昭和二年●内務省衛生局●一九二九・三	211
衛生局年報	昭和三年●内務省衛生局●一九三〇・三	221
衛生局年報	昭和四年●内務省衛生局●一九三一・六	230
衛生局年報	昭和五年●内務省衛生局●一九三二・三	239
衛生局年報	昭和六年●内務省衛生局●一九三三・三	249
衛生局年報	昭和七年●内務省衛生局●一九三四・三	260
衛生局年報	昭和八年●内務省衛生局●一九三五・三	271
衛生局年報	昭和九年●内務省衛生局●一九三六・三	283
衛生局年報	昭和十年●内務省衛生局●一九三七・三	296
衛生局年報	昭和十一年●内務省衛生局●一九三八・三	310
衛生年報	昭和十二年●厚生省衛生局●一九三九・三	324
衛生年報	昭和十三年●厚生省衛生局●一九四〇・七	339
衛生年報	昭和十四年●厚生省人口局●一九四二・一	350
衛生年報	昭和十五年●厚生省人口局●一九四三・九	359
衛生年報	昭和十六年～二十年●厚生省公衆保健局●一九四七・三	369

解説 岡田靖雄

〔第8卷 目次〕

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月(日)●(所蔵及び所蔵者・敬称略・記載のないものは青柿舎所蔵)——復刻版ページ
 *資料名、編著者名(発行所)、発行年月が明示されていない場合、内容から類推し、「」で補充した。

XI 統計(統)——編集岡田靖雄

- 二〇二 精神病患者調査票記入参考●内閣統計局●一九一〇・一——3
- 二〇三 精神病患者地方別表 大正六年六月三十日現在●内務省衛生局●一九一八・五——12
- 二〇四 精神病二関スル統計 自大正元年至大正五年●内務省衛生局●一九二二・九——23
- 二〇五 精神病二関スル統計 自大正六年至大正十年●内務省衛生局●一九三〇・二——96
- 二〇六 精神病二関スル統計 自大正十一年至大正十五年・昭和元年●内務省衛生局●一九三一・五——101
- 二〇七 精神病患者収容施設調 大正十五年六月末日現在●内務省衛生局●一九二七・五●(武蔵野学院)——106
- 二〇八 精神病患者収容施設調 昭和二年六月末日現在●内務省衛生局●一九二八・三●(武蔵野学院)——118
- 二〇九 精神病患者収容施設調 昭和三年六月末日現在●内務省衛生局●一九二九・六●(武蔵野学院)——131
- 二一〇 精神病患者収容施設調 昭和六年五月二十日現在●内務省衛生局●一九三二・一——147
- 二一一 精神病患者収容施設調 昭和九年一月一日現在●内務省衛生局●一九三四・一二●(武蔵野学院)——164
- 二一二 精神病患者収容施設調 昭和十二年一月一日現在●内務省衛生局●一九三七・八●(武蔵野学院)——174
- 二一三 精神病患者収容施設調 昭和十五年一月一日現在●厚生省予防局●一九四一・三——185

XII 議会議事録——編集岡田靖雄

〈第一三回帝国議会〉

- 二二四 精神病患者監護法案(貴族院議事速記録第十三号)●一八九九・一・一九——195
- 二二五 精神病患者監護法案(貴族院特別委員会議事速記録第一号)●一八九九・二・八——198
- 二二六 精神病看護法案(貴族院委員会速記録第二号)●一八九九・二・二四——205
- 〈第一四回帝国議会〉
- 二二七 精神病患者監護法案(貴族院議事速記録第十二号)●一九〇〇・一・二〇——210

- 二二八 精神病患者監護法案(貴族院議事速記録第十三号) ●一九〇〇・一・二三——213
- 二二九 精神病患者監護法案(貴族院特別委員會議事速記録第一号) ●一九〇〇・一・三一——215
- 二三〇 精神病患者監護法案(貴族院特別委員會議事速記録第二号) ●一九〇〇・二・三——224
- 二二一 精神病患者監護法案(貴族院特別委員會議事速記録第三号) ●一九〇〇・二・七——235
- 二二二 精神病患者監護法案(貴族院議事速記録第二十一号) ●一九〇〇・二・一〇——248
- 二二三 精神病患者監護法案(貴族院議事速記録第二十二号) ●一九〇〇・二・一二——256
- 二二四 精神病患者監護法案(衆議院議事速記録第二十五号) ●一九〇〇・二・二三——260
- 二二五 精神病患者監護法案(衆議院審查特別委員會議事速記録第一号) ●一九〇〇・二・二五——263
- 二二六 精神病患者監護法案(衆議院審查特別委員會議事速記録第二号) ●一九〇〇・二・二六——270
- 二二七 精神病患者監護法案(衆議院審查特別委員會議事速記録第三号) ●一九〇〇・二・二七——290
- 二二八 精神病患者監護法案(衆議院議事速記録第三十号) ●一九〇〇・二・一九——292
- 〈第四一回帝國議會〉
- 二二九 精神病院法案(衆議院議事速記録第十六号) ●一九一九・二・二三——293
- 二三〇 精神病院法案(衆議院委員會議事速記録第一回) ●一九一九・二・二四——296
- 二三一 精神病院法案(衆議院委員會議事速記録第二回) ●一九一九・二・二六——297
- 二二二 精神病院法案(衆議院委員會議事速記録第三回) ●一九一九・二・二七——308
- 二三三 精神病院法案(衆議院委員會議事速記録第四回) ●一九一九・二・二八——317
- 二三四 精神病院法案(貴族院議事速記録第十五号) ●一九一九・三・一——326
- 二三五 精神病院法案(衆議院議事速記録第十九号) ●一九一九・三・五——328
- 二三六 精神病院法案外二件(貴族院特別委員會議事速記録第一号) ●一九一九・三・八——329
- 二三七 精神病院法案外二件(貴族院特別委員會議事速記録第三号) ●一九一九・三・一一——333
- 二三八 精神病院法案外二件(貴族院特別委員會議事速記録第四号) ●一九一九・三・一二——336
- 二三九 精神病院法案外二件(貴族院特別委員會議事速記録第六号) ●一九一九・三・一五——340
- 二四〇 精神病院法案外二件(貴族院議事速記録第十八号) ●一九一九・三・一五——341

〔第9巻 目次〕

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月●(所蔵及び所蔵者(敬称略・記載のないものは青栴舎所蔵))——復刻版ページ
*資料名、編著者名(発行所)、発行年月が明示されていない場合、内容から類推し、「」で補充した。

XV 司法精神医学その他——編集 岡田靖雄

二四一—精神状態鑑定書集 第一巻●榊椒●一八八七・四—一八九六・三●(東京大学医学図書館)——3

二四二—犯罪と精神異状(司法警察官吏訓練資料)〔秘〕●述Ⅱ中村謙／高等法院検察局●一九三九・一〇——101

二四三—阿部定精神状態鑑定書●村松常雄●一九三六・九●(サトウタツヤ)——118

二四四—特殊児童の精神病的観察(児童保護調査資料第三輯)●述Ⅱ三宅鉦一／社会局第二部●一九二五・五——141

二四五—精神病と感化救済事業との関係●述Ⅱ片山国嘉——150

二四六—精神異常者と社会問題●編Ⅱ杵淵義房／呉秀三・永井潜・三宅鉦一・山崎佐・武崎宗三・杉江董・井村忠介・後藤城四郎・高峰博・櫻田五郎・杉田直樹・石井亮一・池田隆徳・黒沢良臣・橋健行・下田光造・片山国嘉・杉山四五郎／中央慈善協会●一九一八・一一——160

二四七—精神病保護施設に就て(資料第貳拾貳号)●財団法人三井報恩会●一九三七・四——227

二四八—昭和拾五年度麻薬中毒者救護会年報●編Ⅱ中谷謹吾●一九四一・九——233

二四九—日本神経学会規則／神経学雑誌 ほか●一九〇八・三——246

二五〇—精神分裂病家系図—遺伝生物学的研究(学術部第26小委員会報告第1号)●小序Ⅱ三宅鉦一／緒言Ⅱ鎌崎轍／日本学術振興会●一九四一・六——249

XV 植民地の精神病患者対策——編集 岡田靖雄

二五一—台湾 阿片癮者の矯正●台湾総督府警務局衛生課●一九三一・七●(武蔵野学院)——307

二五二—大連に於ける精神病患者統計●土井正徳●一九三六・八——326

二五三—昭和九、十年年度年報●台湾総督府養神院●一九三七・五●(賀川豊彦記念松沢資料館)——334

解説・解題 岡田靖雄

〔第10卷 目次〕

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月●(所蔵及び所蔵者(敬称略)記載のないものは青栴舎所蔵)——復刻版ページ

XVI 『救国会々報』——編集 岡田靖雄

二五四―心疾者の救護 第二十七号第二十八号別刷●櫻田五郎●一九一七・六——3	
二五五―心疾者の救護 第三十二号●精神病者慈善救国会●一九一九・一二●(日本福祉大学付属図書館)——39	
二五六―心疾者の救護 第三十三号●精神病者慈善救国会●一九二〇・六●(日本福祉大学付属図書館)——47	
二五七―心疾者の救護 第三十四号●精神病者慈善救国会●一九二〇・一二●(日本福祉大学付属図書館)——52	
二五八―心疾者の救護 第三十五号●精神病者救国会●一九二一・六●(日本福祉大学付属図書館)——61	
二五九―心疾者の救護 第三十六号●精神病者救国会●一九二一・一二●(日本福祉大学付属図書館)——74	
二六〇―心疾者の救護 第三十七号●精神病者救国会●一九二二・六●(日本福祉大学付属図書館)——88	
二六一―心疾者の救護 第三十八号●精神病者救国会●一九二二・一二●(日本福祉大学付属図書館)——106	
二六二―心疾者の救護 第三十九号●精神病者救国会●一九二三・六——123	
二六三―心疾者の救護 第四十号●精神病者救国会●一九二三・一二——130	
二六四―心疾者の救護 第四十一号●精神病者救国会●一九二四・七●(日本福祉大学付属図書館)——147	
二六五―心疾者の救護 第四十二号●精神病者救国会●一九二四・一二●(日本福祉大学付属図書館)——158	
二六六―心疾者の救護 第四十三号●精神病者救国会●一九二五・六●(日本福祉大学付属図書館)——166	
二六七―心疾者の救護 第四十四号●精神病者救国会●一九二五・一二●(日本福祉大学付属図書館)——177	
二六八―心疾者の救護 第四十五号●精神病者救国会●一九二六・六●(日本福祉大学付属図書館)——187	
二六九―心疾者の救護 第四十六号●精神病者救国会●一九二六・一二●(日本福祉大学付属図書館)——193	
二七〇―心疾者の救護 第四十七号●救国会●一九二七・六●(日本福祉大学付属図書館)——200	
二七一―心疾者の救護 第四十八号●救国会●一九二七・一二——207	
二七二―心疾者の救護 第四十九号●救国会●一九二八・九●(日本福祉大学付属図書館)——212	
二七三―救国会々報 第五十号●救国会●一九二九・一二●(国立精神・神経医療研究センター)——222	
二七四―救国会々報 第五十一号●精神病者救国会●一九三一・五——233	

二七五	救国会々報 第五十三号	●精神病者救国会	一九三三・九	248
二七六	救国会々報 第五十四号	●精神病者救国会	一九三四・一〇	264
二七七	救国会々報 第五十五号	●精神病者救国会	一九三五・一二	286
二七八	救国会々報 第五十六号	●精神病者救国会	一九三七・三	315
二七九	救国会々報 第五十七号	●精神病者救国会	一九三八・五	352
二八〇	救国会々報 第五十八号	●精神病者救国会	一九三九・一一	372
二八一	救国会々報 第五十九号	●精神病者救国会	一九四〇・八	406
二八二	救国会々報 第六十号	●精神病者救国会	一九四一・一〇	434

解説・解題 岡田靖雄 (1)

*「心疾者の救護」第廿九号、「救国会々報」第五十二号は既刊本資料集成第5巻に収録

「第11卷 目次」

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月——復刻版ページ
本巻の資料はすべて小峰研究所から提供された。

XVII 「和光」——編集 小峯和茂

二八三	和光 第二号●公立及代用精神病院協会●一九三四・一一	3
二八四	和光 第参号●公立及代用精神病院協会●一九三五・九	25
二八五	和光 第六号●日本精神病院協会●一九三八・三	46
二八六	和光 第五卷第七号●日本精神病院協会●一九三八・五	76
二八七	和光 第五卷第八号●日本精神病院協会●一九三八・九	92
二八八	和光 第五卷第九号●日本精神病院協会●一九三八・一〇	110
二八九	和光 第六卷第一号●日本精神病院協会●一九三九・一	124
二九〇	和光 第六卷第二号●日本精神病院協会●一九三九・四	142
二九一	和光 第六卷第三号●日本精神病院協会●一九三九・六	159
二九二	和光 第六卷第四号●日本精神病院協会●一九三九・九	183
二九三	和光 第七卷第一号●日本精神病院協会●一九四〇・四	217

XVIII 公立及代用精神病院協会総会議事録——編集 小峯和茂

二九四	公立及代用精神病院々主院長会議事録昭和七年十二月五日開催●加藤寛二郎／金子準二／輕部修伯／石橋伊八／斎藤伊佐美／三宅鉦一／斎藤玉男／阿武隆輔／小関光尚	
	長田兵一／他●一九三二・一二	239
二九五	第三回公立及代用精神病院協会総会議事録*昭和九年五月十一日●三宅鉦一／板坂龜尾／井村忠太郎／松村清吾／池田隆徳／大林正夫／小峯茂之／奈良林秀弥／森崎半治	245
	亀井正俊／他●一九三四・五	245

二九六—日本精神病医協会記事 第一号●一九二〇・一—一九三四・四——269

山田病院事件につき 岡田靖雄——(1)

解説・解題 小峯和茂——(5)

*「和光」第壹号、「公立及代用精神病院々々主院長会議々々事録昭和八年九月四日開催」は既刊本資料集成第3巻に収録

〔第12卷 目次〕

資料番号——資料名・編著者名(発行所)●発行年月●目録の管理番号●(所蔵及び所蔵者(敬称略・記載のないものは青柿舎所蔵))——復刻版ページ
 *資料名、編著者名(発行所)、発行年月が明示されていない場合、内容から類推し、「」で補充した。

XX 『心理と医学』——編集 岡田靖雄

- 二九七—心理と医学 第一巻第一号●日本精神療法医学会●一九四四・六——3
- 二九八—心理と医学 第一巻第二号●日本精神療法医学会●一九四四・八——58
- 二九九—心理と医学 第一巻第三号●日本精神療法医学会●一九四五・二——112

XVI 精神病検診録／病床日誌ほか——編集 岡田靖雄

- 三〇〇—精神病検診録●吳秀三●一九〇八・九——165
- 三〇一—病床日誌 山□貞□助●一八七七・一——190
- 三〇二—病床日誌 平□三□●一九〇五・四——193
- 三〇三—後□米□病床日誌●東京帝国大学医科大学精神科病室●一九一八・二——198
- 三〇四—後□米□殿拳動帳●東京帝国大学医科大学精神科病室●一九一八・二——209
- 三〇五—精神病者収容施設調 昭和四年七月末日現在●内務省衛生局●一九三一・三●(小峯和茂)——216
- 三〇六—顛狂院諸病院規則●日本精神病医協会●一九三一・三●(小峯和茂)——232

XIII 京都府・川崎市・神奈川県公文書類——編集 岡田靖雄・後藤基行

京都府公文書類——所蔵 京都府総合資料館

- 三〇七—(精神病者監護法第九條第二項ニ関スル規定…)〈衛甲第九九号〉●内務省衛生局長●一九〇〇・七——239
- 三〇八—(精神病者監置方法トシテ両足連鎖之義…)〈衛第四八七四号〉●内務省衛生局長●一九〇一・七——239
- 三〇九—(精神病者タル在監人ヲ監護義務者…)〈訓第七号〉●監獄護支署●一九〇一・七——240
- 三一〇—(精神病者タル在監人放免ニ関スル取扱…)〈神甲第五〇号〉●内務省衛生局長●一九〇三・四——240
- 三一一—精神病者ニ関スル事項●京都府警察部●(一九二七)——240
- 三一二—精神病者監護取締ニ関スル件●(京都府)警察部長●一九四〇・二——241

- 三二三 精神病患者監護取締ニ関スル件 ●〔京都府警察〕部長 ●一九四〇・五——241
- 三二四 精神病患者監護取締ニ関スル件 ●〔京都府〕警察部長 ●一九四〇・六——243
- 三二五 精神病患者ニ関スル件 ●〔京都府警察部〕 ●〔一九四〇〕——244
- 三二六 府立精神病院設置問題 ●〔京都府警察部〕 ●〔一九四〇〕——244
- 三二七 監置精神病患者警戒方ノ件 ●〔京都府〕警察部長 ●一九四二・一一——245

川崎市公文書類——所蔵 川崎市公文書館

- 三二八 〔精神病患者〕三元の件〕 ●〔神奈川県指令六二九八号〕 ●神奈川県知事 ●一九二五・六 ●A18-39——247
- 三二九 精神病患者引渡ノ件〔ほか〕〔抄〕 ●〔川衛発一〇二号〕 ●川崎警察署長 ●一九二八・五 ●A131-1——251
- 三三〇 〔精神病患者監護費請求書〕 ●〔抄〕 ●〔神奈川県指令衛第一七九三九号〕 ●神奈川県知事 ●一九二八・一一 ●A133-10——255
- 三三一 精神病患者取扱費請求書 ●〔庶衛第五八号〕 ●川崎市長 ●一九二八・一一 ●A131-23——259
- 三三二 精神病患者、行旅病人、癩患者收容ニ関スル件回答 ●〔社第五〇〇号〕 ●川崎市役所 ●一九二九・一一 ●A131-76——265
- 三三三 救護御願 ●〔川崎市〕社会委員 ●一九二九・一一 ●A131-107——267
- 三三四 監置精神病患者監護費請求書〔抄〕 ●〔七川衛保第八三〇号〕 ●川崎市長 ●一九三二・二 ●A133-121——268
- 三三五 私費脳病患者依託入院ニ関スル件〔抄〕 ●〔八川衛保第五〇号〕 ●川崎市役所 ●一九三三・一 ●A169-17——270
- 三三六 委託監置精神病患者本県代用精神病院ニ入院方ノ件 ●川崎市長 ●一九三三・八 ●A169-8——273
- 三三七 救護法ニ依ル救護開始ノ件 ●〔八川社救第五三七号〕 ●〔川崎〕市長 ●一九三三・一一 ●A136-55——276
- 三三八 貧困者救助之件 ●〔九川社第二四七号〕 ●〔川崎市〕社会課 ●一九三四・四 ●A178-27——281
- 三三九 貧困者救助之件 ●〔九川社救第五〇二号〕 ●〔川崎市〕社会課 ●一九三四・八 ●A178-52——282
- 三三〇 救護法ニ依ル救護之件 ●〔九川社救第七三〇号〕 ●〔川崎市〕社会課 ●一九三四・一一 ●A183-27——285
- 三三一 救護法ニ依ル救護開始之件 ●〔十川社救第六九号〕 ●一九三五・三 ●A215-84——288
- 三三二 精神病患者監護義務者調査ノ件 ●〔十二川衛保第四八号〕 ●川崎市長 ●一九三六・三 ●A248-11——292
- 三三三 救護法ニ依ル救護開始ノ件 ●〔十一社救第一五三三号〕 ●川崎市長 ●一九三六・四 ●A252-6——296
- 三三四 〔精神病患者入院取下願〕 ●〔郎〕 ●一九三六・六 ●A248-161——302
- 三三五 精神病患者入院ノ件 ●〔十二衛収第一八〇六号〕 ●警察部長 ●一九三七・七 ●A406-2——304
- 三三六 救護法ニ依ル救護開始之件 ●〔十二川社救第四七四号〕 ●川崎市長 ●一九三七・七 ●A302-36——306

- 三三七―脳病患者私費入院ニ関スル件〔十二川衛保第二四七九号〕●川崎市役所●一九三八・二●A406-1―312
- 三三八―監置精神病患者監護費請求書〔十二川衛保第二六二七号〕●川崎市長●一九三八・三●A406-4―316
- 三三九―救護法ニ依ル救護開始之件伺〔十三川社救第一八二号〕●川崎市長●一九三八・三●A336-51―322
- 三四〇―貧困者救助之件伺〔十四川社収第五九二号〕●川崎市長●一九三九・九●A376-51―326
- 三四一―救護法ニ依ル救護開始之件伺〔十五川社第五九六号〕●川崎市長●一九四〇・八●A405-88―328

神奈川県公文書類―所蔵Ⅱ神奈川県立公文書館

- 三四二―請願書 請願ノ主旨／請願ノ理由●監護(扶養)義務者●一九三三―330
- 三四三―陳情書(精神病患者の保護増進のための策についての件)●横浜市方面委員●一九三五・二―334
- 三四四―追加予算書送附ノ件(精神病患者家系調査費)●警察部長・厚生省予防局長●一九三九・八―335

解説・解題 岡田靖雄―(1)

解説 川崎市公文書館所蔵・戦前期精神障害者関係資料の概要と歴史的意味 後藤基行―(5)